



板橋区立板橋第五中学校 学校だより

常に夢や目標をもち
多様性を尊重し主体的に行動する生徒を育成します

小中一貫学びのエリア：板橋第四小学校・板橋第五中学校



校長 太田繁伸

これからの学校教育を考える ～自律と尊重が育む「生きる力」～

早いもので、新年度のスタートから1ヶ月が過ぎ、若葉が目眩しい5月を迎えました。ゴールデンウィークのさなかではありますが、生徒たちは青空のように、元気に、そして主体的に学校生活を送っています。

昨年度末に実施した学校評価アンケートでは、98.7%という極めて高い割合の生徒が「学校生活に満足している」と回答しました。日々の様子を見ていても、生徒たちが生き生きと過ごす姿を随所に目にします。その背景には、本校が掲げる「生徒自らが考え、行動する」という自律的な環境があると考えています。3月に全校生徒を対象に行った「板橋五中の良いところ」アンケートの結果も、それを裏付けています。第1位は「校則が少なく、自分で考えて行動できる」でした。続く第2位は「先生たちが親しみやすい」であり、生徒と教職員の間の良好な信頼関係を示しています。第3位には「標準服・体操服・私服から自由に選択して着用できる」という、自己決定の尊重が選ばれました。(詳しい結果はWebページをご覧ください)

興味深いのは、最下位が「先生たちが生徒を『さん』付けで呼ぶ」であった点です。生徒の中には、苗字ではなく名前やニックネームで呼ばれることに親しみを感じる世代もいるのかもしれませんが、私たちはあえて「さん」付けを継続しています。それは、生徒を一人の独立した人格を持った存在として敬うことが、人権尊重の第一歩であると確信しているからです。この姿勢は、本校が大切にしている「個の尊重」の根幹であり、今後も揺らぐことはありません。理不尽な制約を排し、一人の人間として認められる安心感があるからこそ、生徒たちは教員と対立する必要がなく、身も心も健やかに学校生活を謳歌できているのだと感じています。

翻って、わが国の教育全体に目を向けると、昭和22年に新制中学校が発足して以来、79年の歳月が流れました。学習指導要領の改訂を重ね、改善は進んでいますが、いまだに「昭和」の価値観に基づいた指導が一部に残っている現状も否定できません。かつての自分が受けた指導をそのまま今の生徒に当てはめるような、社会の変化を看過した指導では、激動の時代を生き抜く力は育たないでしょう。

今、義務教育に求められているのは、単に「知識を詰め込む場」であることではなく、変化の激しい社会を生き抜くための「コミュニティ」としての役割です。社会を俯瞰して課題を発見する力、自分を客観視し課題を解決する力、そして自ら判断し実践する力。こうしたニーズに応えることこそが、現代の教育の責務です。

学力観も「知識の量」から「知識の活用」へと大きくシフトしています。インターネットで容易に情報が手に入る時代だからこそ、情報の取捨選択力や、バラバラな知識を結びつけるネットワーク化された知恵、そして正解のない問いに向き合う「思考力・判断力・表現力」が不可欠です。

現在の一斉授業という枠組みの中で、どれだけ個に応じた学びを深化させ、こうした力を育ていけるか。それは私たちにとっても大きな挑戦です。しかし、学校もまた進化し続けなければなりません。最新の情報やICT機器などの教具も柔軟に取り入れ、生徒たちが「幸せな将来」を自らの手で切り拓いていけるよう、全力を尽くして支援してまいります。



入学式

4月9日、本校では36年ぶりに100名を超す102名の新入生を迎え、華やかに入学式を挙行いたしました。前日の準備から当日の片付けにまで、主に9年生は体育館、8年生は校内清掃など一生懸命に動く姿が非常に頼もしく感じられました。

今年度も、校歌の斉唱は吹奏楽部による生演奏で執り行いました。体育館に響き渡る迫力ある演奏と、それに負けない在校生たちの歌声が重なり、入学式がとても活気に満ちたように感じました。

新入生たちは緊張の面持ちながらも、呼名はしっかり応えていました。102名という多くの仲間とともに踏み出す新たな一歩が確実に感じられた入学式でした。



チューリップ交流会

4月8日の午後に、「チューリップ交流会」が行われました。この活動は、板五中で40年あまりにわたって続けられている伝統的なボランティア活動です。春の交流会は、秋に植えたチューリップを持って地域の福祉施設「さくらの杜」に行って、交流をします。生徒会が有志を募り、にぎやかに行ってました。



新入生歓迎会

4月10日の6時間目に新入生歓迎会を行いました。学校生活や委員会活動、部活動についての説明がありました。委員会活動はスライドを使ってわかり

やすく、部活動紹介は、いつもの活動を実演で笑いあり拍手あり楽しく、8・9年生が発表してくれました。7年生は興味深々に参観していました。



全校レク

4月13日の6時間目に、板五中恒例の全校レクリエーション「ドロケイ」を行いました。1回目は9年と先生、2回戦目は8年、3回戦目は7年、4回戦目は先生と実行委員と運動部、がゼッケンをつけて鬼になりました。みんな走る、走る、逃げ切る、休む、走る、走る・・・春の日差しの中、生徒も先生方も、校庭を元気いっぱい走り回りました。今年はたくさんの小学校から新入生が入学していますが、良い交流の場になっていました。



今月の予定

日	曜日	時程	学校行事予定
1	金	A	開校記念日 体力テスト始 ①身体測定 ②総合 ⑥生徒総会
2	土		
3	日		憲法記念日
4	月		みどりの日
5	火		こどもの日
6	水		振替休日
7	木	A	中間考査
8	金	A	中間考査 ④ごっちゃんタイム(各学年)
9	土		
10	日		
11	月	A	全校朝会(実習生の紹介のみ) ①Hyper-QU 全国学力調査(英語) A組⑤、B組⑥ 教育相談(昼学活) 教育実習始
12	火	A	教育相談(昼学活)
13	水	B	専門委員会、中央委員会
14	木	A	教育相談(昼学活)
15	金	A	教育相談(昼学活) 尿検査2次 進路説明会 8年内科検診(PM)
16	土		

日	曜日	時程	学校行事予定
17	日		
18	月	B	全校朝会 安全指導・点検 ⑥エゴグラム診断(KA教育)
19	火	A	
20	水	B	尿検査2次(追加)⑤ごっちゃんタイム(全学年)
21	木	A	耳鼻科検診(AM) 眼科検診(PM)
22	金	A	9年内科検診(PM) 英検
23	土		
24	日		
25	月	A	避難訓練
26	火	A	
27	水	B	
28	木	A	歯科検診(AM)
29	金	A	教育実習終
30	土		
31	日		

来月(6月)の主な予定

3日(水)～5日(金)9年修学旅行 10日(水)専門委員会・中央委員会 12日(金)小学生体験 13日(土)土曜授業プラン、道徳地区公開講座 移動教室説明会 17日(水)～19日(金)期末考査

勉強はしたいと思うもの

副校長 須藤千絵

ずいぶん前になりますが、ドラマの中で、子供が「なんで勉強をしなければいけないんですか？」という問いに、「勉強はしなければならないものではなく、したくなるものです」と答えたセリフがありました。その時、なるほど～と思いました。

私は、「学校は行くもの、学習はするもの」とさほど疑うことなく過ごしてきました。負けず嫌いな性格も手伝って、目の前の課題をごく当たり前にならしてきてきたタイプです。けれども教員になって、たびたびこの「なぜ勉強をするのか？」という質問を生徒達から受けるのです。そのたび「将来得をするため(知識は得をすると私は思っています)」と答えていました。この考えは今も変わっていません。けれども、そう答えると生徒たちの問いはさらに続きます。「数学の方程式なんて、大人になって使わないのになぜ学ぶの?」「昔の人のこと(歴史)を知って、本当に得をするの?」それなりに答えることはできるのですが、そもそも好きじゃないから質問をしてくるわけで、結構延々と続くこの問いに、「勉強はしたくなるもの」とは、今思うとすばらしい答えです。

今の時代、何かに疑問を持てば、私たちは手元のスマートフォンですぐに答えに辿り着けます。興味の赴くままに SNS や動画サイトで検索を続け、関連する情報を次々に吸収していく。この「知りたい」という原始的な欲求こそが、本来の学習の姿でしょう。このきっかけを学校では作っていきたいなと思っています。知識を得ることは、本来、最高に刺激的で楽しいことです。

自分の問いを大切に、自ら答えを探しに行く。そんな「主体的に学ぶ楽しさ」を板五中で生徒たちに学んでほしいと思っています。



*ところで、「勉強」という言葉は本来「学習」という意味ではないそうです。
(知りたくなりましたか?)